

# 台東育英

No. 1

台東区立台東育英小学校

統括校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidouikuei-s/>

## 新年度を迎えて～「褒めること」「叱ること」を大切に～

統括校長 瀬下 清

校庭の桜も満開となり、春爛漫の季節を迎えました。令和7年度、台東育英小学校の教育活動が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

本校は、71名の新入生を迎え、全校児童416名、15学級で元気いっぱいスタートいたしました。

晴れやかに登校した子供たちの表情を見ていると、これから始まる一年間が、子供たちにとって安心して安全な学びの場にしていかなくてはならないと心が引き締まる思いになりました。

先日、小学校6年生の時の旧友6人と会う機会がありました。卒業以来48年ぶりの対面で、お互いに「どなたでしたっけ？」と、苦笑いをしながら会話が始まりました。数分もしないうちに、小学生時代の記憶が舞い戻り、大笑いしながら、たくさんの思い出話に花が咲きました。その中の一人、小学生時代から勉強がよくできた彼が、18年間、司法試験を受け続け、弁護士になったとのエピソードを聞きました。それだけの長い間、やる気を持ち続けることができた姿勢に感嘆の声が上がりました。

人間の記憶は、「面白い」や「悲しい」などの小さな感動や喜怒哀楽を伴うエピソードによって、脳に深く刻まれ、残っていきます。台東育英小学校の全ての教室での授業も、小さな感動である「なるほど」「面白い」を積み重ねていけば、その教科が好きになり、得意になっていくはずです。

そのためにも、子供たち一人一人の「褒め方」「叱り方」を大切にしていきたいと考えます。「褒める」ことは、おだてたり、持ち上げたりすることではありません。「よく考えたね」「よく努力できたね」など、できたことを「認める」ことです。「叱る」ことは、感情的に怒ることではありません。「説明する」ことです。失敗したときや、ルールを守れなかったときなど、いけなかったところを説明し、納得をさせることです。そうして子供たちを大きく伸ばしていきたいと思えます。

台東育英小学校が、子供たちの大切な「学びの場」になっていけるよう教職員一同、力を尽くしていく所存です。本年度も本校の教育活動にご理解とご支援のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。



校庭に咲いた満開の桜